59 号 なでしこ通信

平成 28 年度　秋号

秋と言えば、スポーツ、芸術からお祭りまで、様々な行事が目白押し。先日、蓮華寺池公園で久しぶりの散歩をしていたら、人手の多さにびっくり。それも若者が・・・。よく見ると、歩きながら手に持ったスマホとにらめっこ。あーあ、これが「ポケモンＧＯ」か！

参加の仕方や楽しみ方もどんどん変わっているのに、ガラケーにしがみついている年代にはびっくりすることばかり。さあ、皆さんは、どんなことにチャレンジしますか。

センター職員の人事異動がありました

◇10 月 1 日採用　里親支援員　髙山　鐘子

はじめまして

平成２８年１０月１日より里親家庭支援センターで支援員として勤務させていただいています。髙山鐘子と申します。

福祉分野の仕事は、約７年前に障がい者職業センターの事務職をしたことがきっかけではじめました。

その後、児童分野、障がい者分野、高齢者分野で働き、今回どうしても再び児童分野でお手伝いさせていただきたいという思いから、このセンターの仕事につくことを希望しました。

まだまだ勉強中でわからないことが多いですが、皆さんの顔と名前を早く覚えて、いろいろ教えていただきながら、お役に立ちたいと考えています。

宜しくお願いいたします。

◇10 月 1 日昇任　主任兼里親推進員　根生　直子

里親推進員の根生直子です。

里親の皆様に支えられ里親支援業務も早や６年目に入りました。

このたび 10 月 1 日付をもって主任を拝命し、責任の重さに身の引き締まる思いです。

いつでも気楽にご相談いただける里親支援を目指し努力してまいります。

今後とも、よろしくお願いいたします。

◇9 月 30 日退職　里親支援員　トマジ　里絵

昨年７月に就職してから多くの戸惑いもあったようですが、多くの研修にも前向きに受講し、里親支援事業の習得に努めていただきました。今年の２月から始めた全家庭訪問がそれぞれの里親子の状況を知るよい機会となり、里親子との距離も近くなってきた矢先でしたが、家庭事情から９月一杯で退職されました。これまで、ご苦労様でした。

トマジさんのファンも増えてきた中での突然の退職となりましたが、子どもへの思いが強い将来性のある人でしたので、今後、何らかの形で子ども支援のために力を発揮されることを祈っています。

H28 年度　新しい里親さん紹介

養育里親登録年月日　平成 28 年 7 月 20 日
　　□駿河区　ご夫妻
養育里親登録年月日　平成 28 年 9 月 21 日
　　□葵区　ご夫妻
専門里親登録年月日　平成 28 年 7 月 20 日
　　□葵区　里親

受賞おめでとうございます

静岡市社会福祉協議会会長表彰者
　　里親功労者被推薦　清水区　里親　ご夫妻

静岡県社会福祉協議会会長表彰者
　　里親功労者被推薦　葵区　里親　ご夫妻

H28 年度　第8回スキルアップ研修　報告

子 ど も の 権 利

◆日　時　/　２０１６年9月６日（火）１０時００分～１１時３０分
◆場　所　/　静岡市児童相談所 相談室3
◆講　師　/　静岡市児童相談所　相談・判定係主幹兼係長
◆参加者　/　１１名

講義内容より抜粋

Q1：**人権とはなんですか？**
A1：**「安心」の権利、「自信」の権利、「自由」の権利**です。
「自由」の権利は好き勝手にするということではなく「選ぶ」権利ともいえます。
Q2：**Aちゃんが同級生に仕事を押し付けられ、明日もやれと言われています。**
人権を侵害されていますが、取り戻すためにはどうすればいいでしょう？
A2：人権を取り戻すための3つの道具を紹介してあげましょう。
「いやだ」、「逃げる」、「相談」です。
3つの道具をAちゃんにわたすときは、
「Aちゃん、『いやだ』って言えばいいでしょ！そんな時は『いやだ』って言いなさい！」と伝えるのではなく、
「Aちゃん、『いやだ』って言ってもいいんだよ？」と伝えるそうです。
「自信」「自由」の権利を奪われている状況ですから、なかなか言い出せないですよね。
Aちゃんは「『いやだ』って言え」と言われても言えない自分を責めかねません。
「そうか・・『いやだ』って言えない自分が悪いんだ」
だから**「いやだ」と言えるなら言ってもいいんだ**よ、と伝える。
さらに同じように**「『逃げ』てもいいんだよ」**と伝える。その場所にまた行かなくてもいいと。
でも仕返しが恐くて「『いやだ』も『逃げる』もできない。そんな時は**『相談』するんだよ**」、と伝える。
友達でもいい。大人でもいい。
「安心」「自信」「自由」を奪われて困ってしまって、**「いやだ」も「逃げる」もできないとき、必ず「相談」だけはしてね**。そう伝えてください。

✿ アンケートより ✿

■子どもにさっそく「あなた達には、こういう権利があるんだよ」ってお話しします。
■子どもの話をよく聞いてあげたいと思います。
■里親からの質問がたくさん出て、吉引さんのご厚意もあり、白熱したやり取りが1時間近く続きました。強制終了（笑）後も、もっと聞きたいことはありました。
今後も児相職員と里親がオープンに話せる場が必要だと感じました。

ホームページ紹介

養育上のQ＆A

ホームページから『うちの子「育てにくい子」？』という素晴らしい相談コーナーを見つけました。出典者了解の下、その中の２問を掲載します。

□　出典：Ｋｉｄｓ　ｈｕｇ

□　監修：筑波大学医学医療系教授　徳田 克己 先生

１　「発達障害のお子さん」への指示の方法、話の伝え方の工夫

発達障害のある子どもが、会話する上で苦手なことがいくつかあります。

多くの子どもが、話を耳で聞いて、意味を理解することが苦手なのです。

・単語そのものが何を意味するかわからない
・単語の意味はわかっても、話が長くなると、内容がわからなくなる
・長い話だと、途中で注意力が散漫になって、聞いていられなくなる
・自分で一方的に話すことはできるが、ひとの話を聞いていることはできない
・ほかの人との会話がかみ合わない

このような子どもと話をする際のポイントが、「はっきり・短く・具体的に」なのです。

＜はっきり＞

今、何の指示がなされたのか、何の話をしているのかが、子どもにわかるようにします。メリハリをつけて話してください。

＜短く＞

子どもに対して、多くのことをしゃべりすぎないことです。

「言葉をたくさん使って説明するとわかりやすい→×」

ということを覚えておいてください。ことばの理解が難しい子どもに多くのことばを用いるのは逆効果なのです。

＜具体的に＞

何をすればよいのか、明確に伝えてください。つい使ってしまうことばですが、「ちゃんとして」［きちんとしなさい］ということばでは、具体性に欠けているので、子どもはわかりません。

例：「ちゃんと着なさい」　→　「・・ちゃんは、シャツをズボンに入れます」

「・・ちゃんが、一番上のボタンも止めます」

このように、その都度でどうすればいいのか、子どもがわかるように伝えます。

発達障害のある子どもには、本人が主語になるよう指示してください。

「(・・ちゃんが)～します」のように言ってください。そのほうが、自分がその行動をするのだと理解しや

すくなるのです。
　耳で聞いただけではわかりにくくても、目で見ればわかる子どもは多くいます。そのため、子どもと話をする際には、実物や絵カードなどを利用してください。

２　約束を守れたらお子さんを必ずほめてあげましょう

「発達障害のお子さん」にやって良いこと悪いことを明確にする

　二次障害を防ぐためにも、親は発達障害のある子どもを叱りすぎてはいけません。しかし「叱ってはいけない」のではないのです。
　やってはいけないことをした場合には、注意をし、何をしてはいけないのかについて、明確に子どもに教える必要があります。
　まず、やってよいこと、悪いことをはっきりとさせます。口で説明しただけでは、発達障害のある子どもは忘れてしまったり、理解できないことがあります。絵や写真などを使って、視覚的に説明してください。
　発達障害のある子どもは、落ち着いているときは善悪の判断ができても、興奮すると、とっさの判断ができない場合があります。このような状況にならないためにも、以下の２つのことを準備してください。

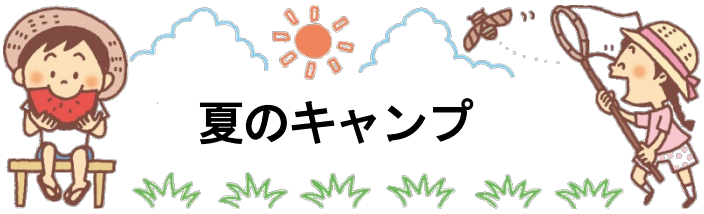
子どもが行動する直前に「やってはいけないこと」を伝える

　高いところにのぼるのが好きな子どもには、家の中で遊ぶときに、「テーブルやタンスにのぼってはいけない」と再確認してください。このような、「遊び始める前の約束」を親子でするのは効果的です。

具体的な絵などでその約束を示す

　「高いところにのぼってはいけません」と約束した際には、子どもがのぼりそうな家具に［×］のしるしを描いたカードを貼っておいたり、子どもが家具にのぼっているイラストを描き、その上に大きく×を描いて貼っておくなども効果的です。
　子どもが、やってはいけないことを少しでも守っていたら、どんどんほめてください。高いところにのぼらず遊んでいたら、ほめるようにしていくと、のぼりたい衝動にかられても、［ほめられたい］という気持ちが強くなります。
　そうすることで、少しずつがまんできるようになります。上手にほめることができる親は、この子たちの持つ力を最大限に伸ばしてやれる親なのです。

主 な 活 動 報 告



夏のキャンプ

平成 28 年 8 月 21 日～22 日
島田市　山の家にて
参加者　　75 人

今年のキャンプでは、恒例行事もさることながら、印象に残ることが二つ。
一つ目は、お父さんの名司会に乗せての玉入れと綱引き。
皆の気持ちがまとまって、歓声響く時間でした。

二つ目は、”港かっぽれ ちびっこダンサーズ” あまりの可愛さに大感激！
『また来年もキャンプで会おうね』
そんな気持ちの二日間でした。　　（ M里親 ）

火の神、かっこいいね

ちびっこサロン
「食　育　を　学　ぶ」　ｉｎ　西部給食センター

平成 28 年 9 月 9 日（金）　　参加者　13 人

徹底した衛生管理下で毎日 1 万食の給食が作られていることに、驚き、
同時に多くの残食が出ているというお話に胸が痛みました。
昔を思い出しながら、給食の配膳もしてきました。
この日の献立は、さんまのかば焼き・ひじき煮・ご飯・味噌汁・牛乳。
親子で美味しく完食してきました。　　（ 清水区　K里親 ）

静岡市里親会

秋の自然体験

ｉｎ　遊木の森

日　時　平成 28 年 9 月 22 日（祝）

場　所　遊木の森　静岡市駿河区古宿（平沢観音近く）

秋分の日は朝から雨。ちょっとドキドキしながら遊木の森へ集合しました。「五感を使って自然となかよく遊ぼう！」と森の先生。鳥や虫の声、土や草木の匂い。虫くいの葉が光に透けてレースみたい！くもの巣に雨がたまって宝石のようです！トカゲやバッタにも触ってみました。
優しい森に抱かれて親子の会話もはずみました。
これからも自然の中で、元気に育つ子供達！！　　（　W里親　）

平成 28 年度静岡市里親会研修会

「女性ならではの視点からの子育て」

養育の主体者である里母の目線を色んな活動に反映させたい。

講師　　こどもみらい横浜会長　新井淳子　氏

日　時　：　平成２８年９月１６日（金）　　13:15～
内　容　：　養育里親体験談　里親会の取組みと今後　女性リーダーとしてのスキル
場　所　：　静岡市児童相談所　　多目的室

「女性ならではの視点からの子育て」の演題でこどもみらい横浜会長の代表理事である新井淳子氏の話を聞きました。

御自身の養育体験・里親会の取り組み方など実際に活躍されている事を中心に話され、時間のたつのも忘れる程でした。

今後、女性ならではの視点・発想が子育てなどに重要であることを理解しました。これから女性目線を大事に過ごしていきたいと思いました。

ありがとうございました。　　（　M里親　）

～新たな家庭養育の流れに向けて～

講演会・シンポジウム

平成 28 年 9 月 5 日(月)13 時からグランシップで、田辺信宏市長と日本財団の高橋恵里子氏の挨拶をはじめに、静岡市主催（静岡市里親家庭支援センター・里親会協力）による講演会・シンポジウムが次のとおり開催されました。

プログラム

静岡市の里親支援の活動報告

報告者：市児童相談所　副主幹　矢澤　剛　氏

講演会

１．「新たな社会的養育システムとは」
　講師：全国里親会　副会長　木ノ内 博道 氏
２．「里親支援機関における里親家庭へのソーシャルワーク
　～静岡市での調査と改正児童福祉法の内容を踏まえて～」
　講師：静岡福祉大学教授　相原 眞人 氏

シンポジウム

「里親支援機関の現状と今後のあり方について」
　コーディネーター：静岡福祉大学教授　相原 眞人 氏
　シンポジスト　　：キーアセット　渡邊 守 氏
　　：和歌山県里親支援センター「なでしこ」　森下 宣明 氏
　　：静岡市里親家庭支援センター　佐野 多恵子 氏

シンポジウムの成果

里親支援への関心が高まる中で、里親支援機関に関する講演会・シンポジウムが全国で初めて開催されました。会場は、県内外からの児童相談所及びこれを所管する本庁職員をはじめ、里親支援機関職員、児童福祉施設職員、児童福祉関係者並びに里親会会員など 118 人の参加者で一杯となり、登壇者の発言を聞き洩らすまいとする熱気で充ち溢れていました。

静岡市の里親支援の取組みとその成果について情報発信するとともに、全国で先駆的な活動をしている民間団体からの発表や意見交換を通じて、里親支援機関の在り方について情報共有することができたようで、終了後、多くの参加者から、「また、開催してほしい。」という声が寄せられました。

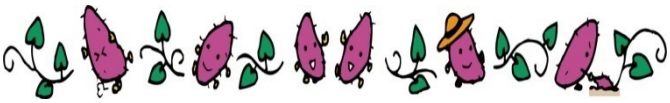
平成 28 年度 第３回理事会

日時：平成 28 年 10 月 18 日（火）11：00～
会場：児童相談所　多目的室

大学等修学支援奨学金給付対象者の変更、特定資産に係る寄付額の増額、講演・シンポジウム開催に係る日本財団からの助成、会計処理の適正化などに伴う平成 28 年度補正予算書案について、全会一致で承認されました。また、里親養育状況の変化や新たな家庭養育に係る国の動向等に的確に対応していくため、当センターあり方検討会の設置についても全会一致で承認されました。

審議事項に続いて、平成 28 年度人事異動、講演会・シンポジウムの開催状況及び市への提出された平成 28 年度要望書について、報告がありました。

活動報告(7～10月)



7月　6日　(水)　第3回スキルアップ研修　少年の家にて
「遊びの力で楽しい子育て」
講師　静岡県立短期大学　松平千佳教授
参加者　12人

7月　8日　(金)　相談員会議　児童相談所にて

7月　11日　(月)　里親会役員会　児童相談所にて

7月　23日　(土)　里親制度説明会　ふしみやビル
参加者　8人

7月　26日　(火)　里親認定前、更新研修会　児童相談所にて
参加者　13人

7月　27日　(水)　出前講座　静岡福祉大学にて
「養育体験発表」　葵区里親
参加者　80人

7月　28日　(木)　出前講座　藁科生涯学習センターにて
「養育体験発表」　清水区里親
参加者　62人

7月　30日　(土)　第5回スキルアップ研修　グランップにて
ディサービス　よつば　「障がいと自立と支援」
参加者　7人

8月21日　(日)～22日　(月)　里親・ちびっこ合同サロン　島田市山の家にて
夏のキャンプ
参加者　75人

9月4日　(日)　ふれあい広場　「福祉まつり」　青葉シンボルロードにて

9月5日　(月)　～新たな家庭養育の流れに向けて～　講演会・シンポジウム
参加者　118人　グランップにて

9月　6日　(火)　第6回スキルアップ研修　児童相談所にて
「子どもの権利」
講師　静岡市児童相談所　相談・判定係主幹兼係長　吉引裕氏
参加者　11人

9月　9日　(金)　ちびっこサロン　静岡市給食センターにて
参加者　13人

9月　9日　(金)　出前講座　辻生涯学習センターにて
「養育体験発表」　清水区里親
参加者　20人

9月14日　(水)　相談員「傾聴」研修　少年の家にて
講師　静岡県青少年会館　青少年活動研究所　根本英行　氏
アクティブリスニング静岡

9月　15日　(木)　出前講座　南部生涯学習センターにて
「養育体験発表」　駿河区里親
参加者　50人

9月　16日　(金)　里親会役員会　児童相談所にて

9月 16日（金）　静岡市里親会研修会　児童相談所にて
「女性ならではの視点からの子育て」
講師　こどもみらい横浜会長　新井淳子　氏
参加者　16人

9月 21日（水）　里親サロン　清水区里親宅にて
参加者　17人

9月 22日（木）　秋の自然体験　遊木の森　静岡市里山にて
協力　ＮＰＯ法人静岡環境教育研究所
参加者　33人

10月 4日（火）　里親相談コーナー　葵区役所にて

10月 7日（金）　ちびっこサロン　葵区神社にて
参加者　13 人

10月 8日（土）　里親月間記念講演会　シズウエルにて
「子どもと家庭の社会的課題を解決する」
講師　藤井　康　氏　（元厚労省障害保健福祉部長/東京都養育里親）

10月 11日（火）　相談員「傾聴」研修　児童相談所にて

10月 11日（火）　アイワ不動産チャリティコンサート収益金寄贈式
児童相談所にて

10月 12日（水）　第7回スキルアップ研修　児童相談所にて
「コモンセンス・ペアレンティング」～親子が笑顔になるしつけの方法～
講　師　：　浅井　宏美　氏　（NPO法人親支援プログラム研究会理事）
参加者　19人

10月 18日（火）　静岡市里親家庭支援センター理事会　児童相談所にて
里親会役員会　児童相談所にて

10月 19日（水）　第7回スキルアップ研修　児童相談所にて
「コモンセンス・ペアレンティング」～親子が笑顔になるしつけの方法～
講　師　：　浅井　宏美　氏　（NPO法人親支援プログラム研究会理事
参加者　18人

10月 26日（水）　第7回スキルアップ研修　児童相談所にて
「コモンセンス・ペアレンティング」～親子が笑顔になるしつけの方法～
講　師　：　浅井　宏美　氏　（NPO法人親支援プログラム研究会理事
参加者　19人

10月 28日（金）　里親サロン　駿河区里親宅にて
参加者　21人

10月 29日（土）　里親制度説明会　清水区はーとぴあにて
参加者　1人

自立支援へのお礼

今回、大学等修学支援奨学金支給事業に高額なご寄付をいただいている匿名希望の方のために、奨学金を受けている子ども達を代表して、男の子がお礼の手紙を書いてくれました。手紙には、専門学校の生活にも慣れ、楽しみながら勉学に励んでいる様子が綴られていました。夏の暑い日に、一生懸命、手紙を書いてくれた男の子に感謝、感謝！です。

皆様のご理解に感謝いたします

（平成 28 年 4 月 1 日～10 月 31 日）

正会員

【個人】角田民子　加藤博章　木内幸枝　久保田仁美　窪谷容子　漆畑光時　遠藤みさ子
佐野多恵子　白鳥裕子　眞保和彦　杉山友章　鈴木陽子　土屋直子　鳥羽茂
永田正　西井秀明　土方洋子　福永博文　松浦雅江　眞子義秋　水元明美　守屋明
宮城島豊　若月容子　滝川和子
【団体】静岡市里親会

賛助会員

【個人】青木久枝　青島加代子　天野英俊　伊澤律子　稲垣吉乃　江川カヨコ　大澤美恵子
岡村肇　奥村千昭　小柳津君枝　樋守嘉明　北山和賀　近藤伊理弥　近藤孝邦
近藤正子　近藤正美　齊藤和美　佐々木希世子　佐々木慎一　浅沼君子　塩坂弓子
鈴木寛彦　外立昌子　鷲尾紀世子　高橋三紀子　長曽我部仲子　寺尾美郷
トマジ里絵　内藤純代　永井民子　長島可並　根生直子　藤原節子　古木秀子
堀田道子　宮城隆　宮澤貴子　村田久美子　望月秀樹　安池康之　山本智ひろ
柚木美乃　若杉豊

【団体】あゆみ第２保育園　(社福)あゆみ　有度西地区民生児童委員協議会　(社福)春風寮
(社福)春日保育園　㈱アイワ不動産　管明彦　三恵有限会社　ゆりかご保育園
タカオ旅館　㈱TRW　(社福)沼上保育園　竜南保育園　(有)細澤建材興業
医療社団法人マッキー

寄附者

【個人】石川恵美　石川新治郎　管明彦　久應院　久保坂篤　近藤正子　杉村宣行
杉山友章　鈴木寛彦　寺尾美郷　中村安秀　土方洋子　堀井俊　松木すえ相続人
丸谷百合子　望月秀樹　守屋明　柚木美乃

【団体】㈱アイワ不動産ホールディングス　三枝ｸﾘﾆｯｸ・肛門科

※ 敬称略・順不同で掲載させていただきました。

＜　納 入 状 況　＞

区　　分		個　　人	団　　体	計
会員	正 会 員	２４口	８２口	106 口
	賛 助 会 員	９５口	１８口	113 口
	計	119 口	100 口	219 口
寄付者		18 人	1 団 体	18 人 1 団 体

皆様から寄せられた会費や寄付金は、本センターが取り組む事業のために大切に使わせて頂きます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記

4 月 4 日に、子どもの「最善の利益」の実現に向け、包括的な取組みを推進するため、全国の自治体及び民間団体による「子どもの家庭養育推進官民協議会」が設立され、当センターも少しでも役に立てるようにと、当協議会に加盟しました。7 月 28 日（木）には、研修会があり、「里親リクルートと研修」という分科会で初めて話題提供をしてきました。研修終了後の懇親会も含め、多くの専門家と知り合い、有益な情報を得ることができました。そのとき、思いのある仲間と一緒に「新たな家庭養育」を目指して船出しているような気分に浸ることができました。

NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市瀬町914番地の417(静岡市児童相談所内)
TEL. 275－2252･FAX. **255－2052**
担当者　　望月　根生　髙山
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp